

事業会社とディープテック・スタートアップとの連携に関する現状調査 概要資料

調査の全体像

調査目的

ディープテックスタートアップ（以下、「ディープテックSU」）との連携に積極的でない、ディープテックSUが有する技術の確立・事業化・社会実装の加速化に貢献しうる事業会社を総論的に把握することにより、経済産業省におけるディープテックSU支援の有効的かつ効率的な遂行、ひいてはイノベーション創出による国内産業の活性化に向けた政策の検討に役立てるため

調査内容

経済産業省が取りまとめた『ディープテックSUとの連携の「実践度合い」チェックリスト*』を活用し、事業会社とディープテックSUとの連携の状況について確認するとともに、事業会社における新規事業創出やオープンイノベーションに向けた取組み状況、ディープテックSUに対する評価手法等について調査

* 経済産業省：「ディープテックスタートアップの評価・連携の手引き」（チェックリストが内包された資料）

<https://www.meti.go.jp/press/2023/06/20230602006/20230602006-1.pdf>

調査概要

- ディープテックSUとの連携実態に関する設問（前出の「チェックリスト」に沿った設問）
- 新規事業創出やオープンイノベーションに向けた取組み状況に関する設問
- ディープテックSUに対する評価手法に関する設問

調査対象

- 東京証券取引所に上場している事業会社
- オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会（JOIC）会員企業
- 地域未来牽引企業

調査方法

Web調査

調査期間

2023年11月6日（月）～2023年12月15日（金）

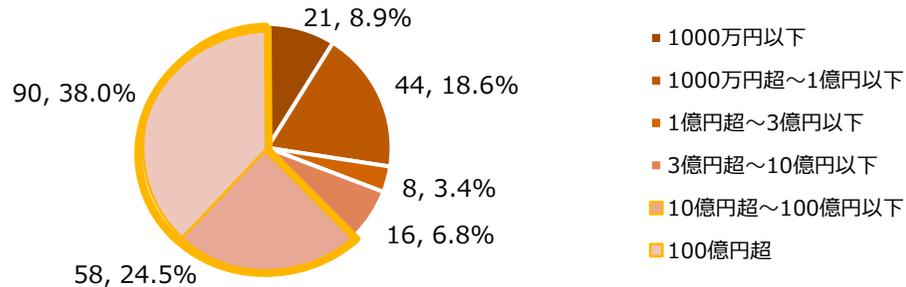
調査票回収率

対象企業数：4,496社
回答企業数：229社（237名）
回答率：5.1%

アンケート回答企業の属性

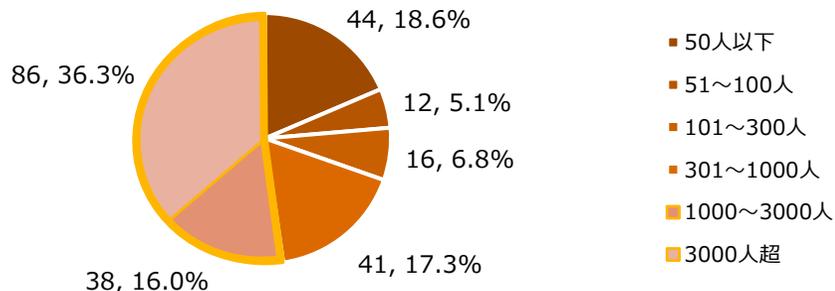
資本金

6割以上の回答が10億円以上の資本金を有する企業からの回答であった（n=237）



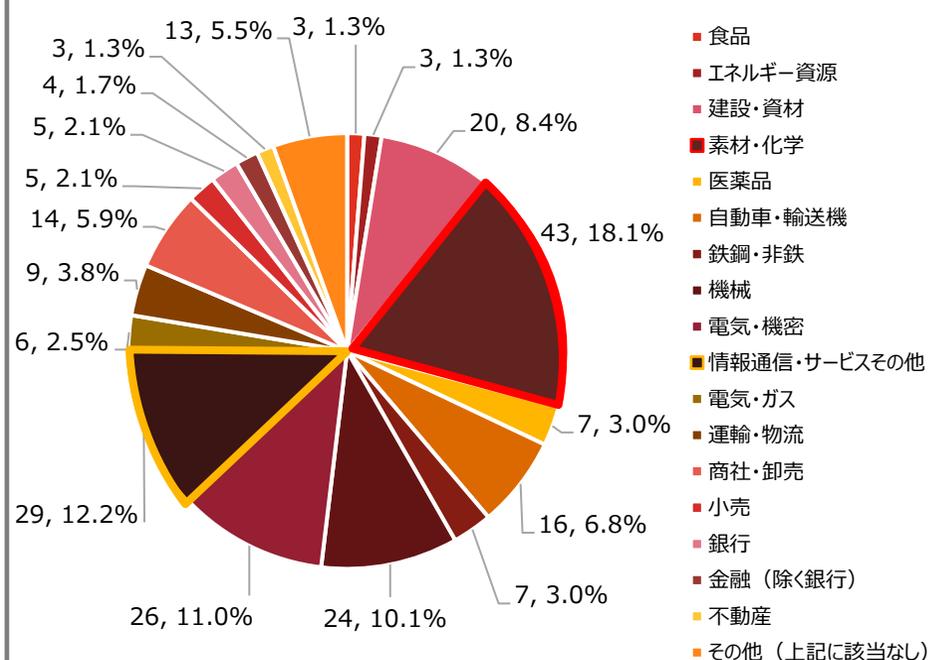
従業員数

5割以上の回答が1000人以上の従業員を有する企業からの回答であった（n=237）



業種

素材・化学に関する事業を展開する企業からの回答が最も多かった。次いで、情報通信・サービスその他に関する事業を展開する企業からの回答が多かった（n=237）

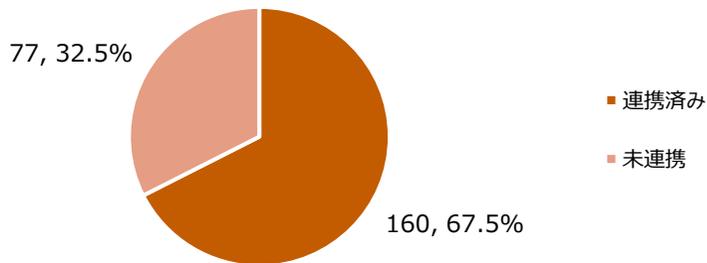


※円グラフ内の数値は【回答数, 回答数の割合（小数点第2位を四捨五入）】を表示

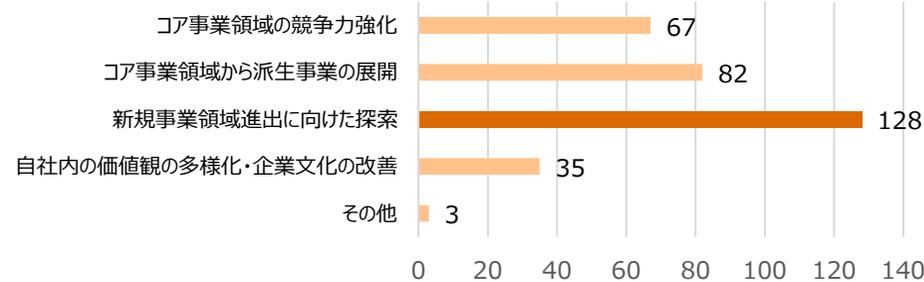
事業会社とディープテック・スタートアップとの連携に関する現状調査 概要資料

アンケート回答結果

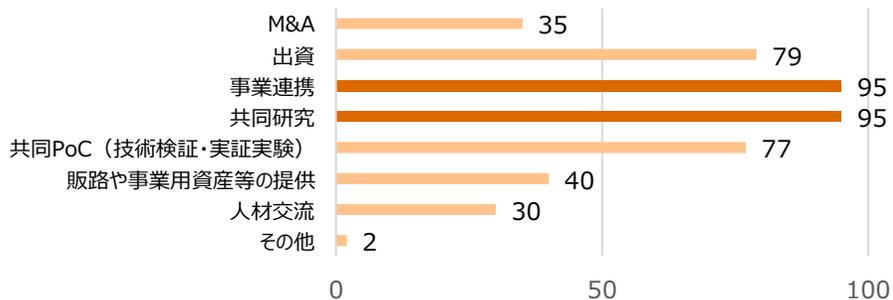
連携状況 約7割の企業がディープテックSUと連携している/連携したことがあると回答した(n=237)



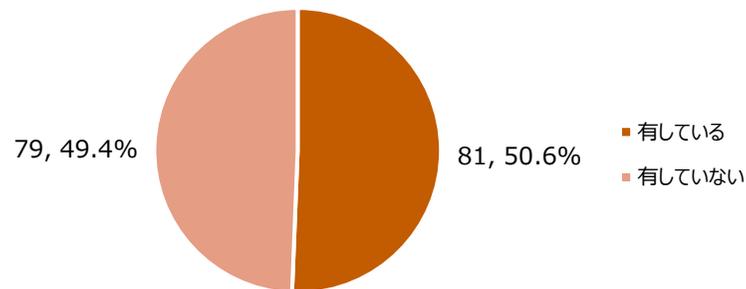
連携目的 ディープテックSUと連携済みの企業からは、**新規事業領域進出に向けた探索**を目的として連携しているとの回答が最も多かった (n=160) ※複数選択



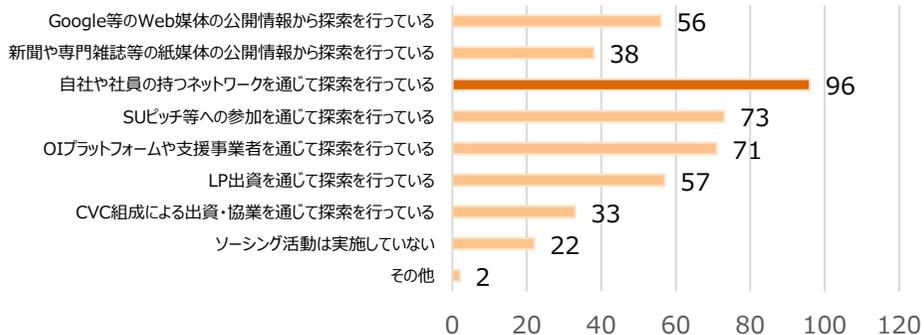
連携形態 ディープテックSUと連携済みの企業からは、**事業連携、共同研究**の形態での連携を実施しているとの回答が最も多かった (n=160) ※複数選択



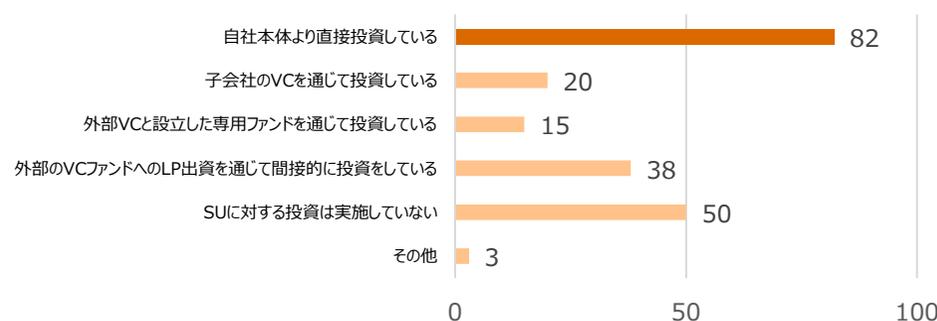
担当部署 ディープテックSUと連携済みの企業のうち、**約半数程度がディープテックSUとの連携を検討・実施する部署を有している**と回答した (n=160)



ソーシング方法 ディープテックSUと連携済みの企業は、SUに対するソーシング活動として、**自社や社員の持つネットワークを通じて探索を行っている**との回答が最も多かった (n=160) ※複数選択



投資・資金提供 ディープテックSUと連携済みの企業は、SUへの投資・資金提供の方法として、**自社本体より直接投資している**との回答が最も多かった (n=160) ※複数選択



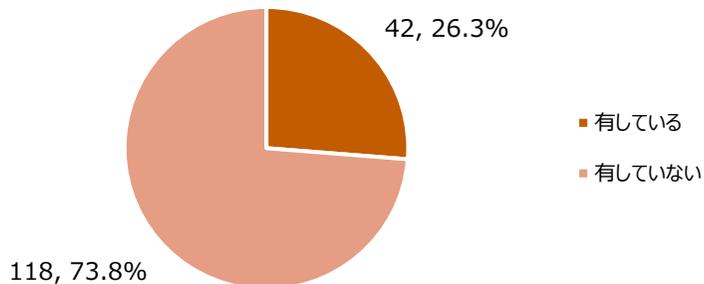
※円グラフ内の数値は【回答数, 回答数の割合 (小数点第2位を四捨五入)】を表示

事業会社とディープテック・スタートアップとの連携に関する現状調査 概要資料

アンケート回答結果

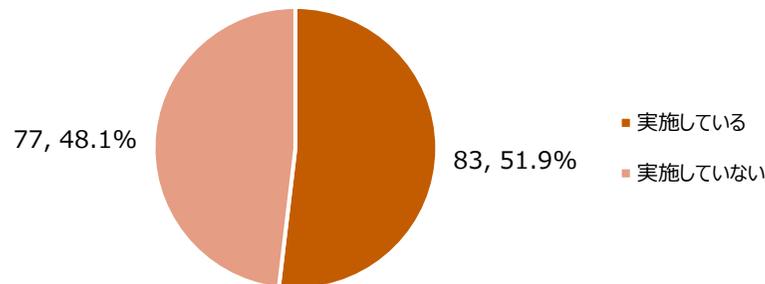
CVCの有無

ディープテックSUと連携済みの企業のうち、**3割未満の企業のみがCVCを有している**と回答した (n=160)



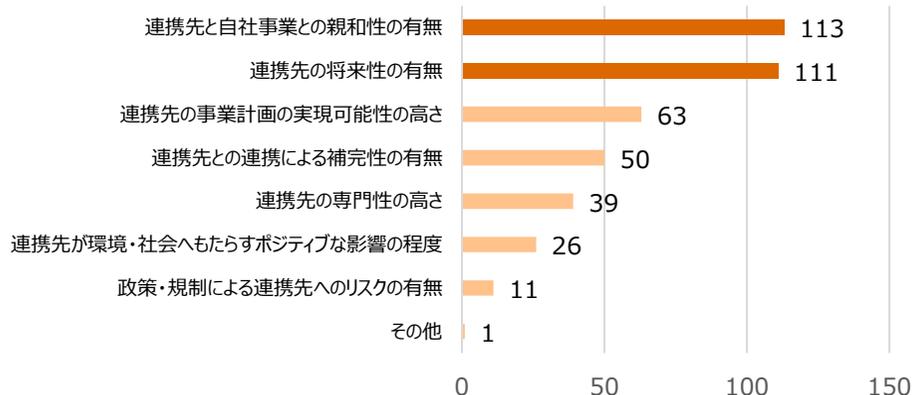
評価実施

ディープテックSUと連携済みの企業のうち、**約半数がディープテックSUとの連携を検討・選定するにあたり、何らかの評価を実施している**と回答した (n=160)



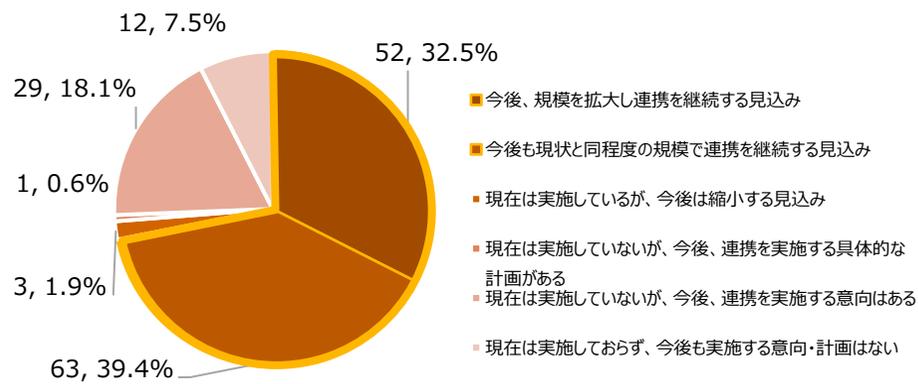
評価観点

ディープテックSUと連携済みの企業からは、**連携先と自社事業との親和性の有無、連携先の将来性の有無**を評価の観点として重視しているとの回答が多かった (n=160) ※複数選択



今後の連携意向

ディープテックSUと連携済みの企業のうち、**7割以上の企業が今後も拡大もしくは同程度の規模での連携を実施予定**と回答した (n=160)



総括

- アンケートに回答いただいた企業のうち、**約7割がディープテックSUと連携している/連携したことがある**と回答しており、**そのうち約7割の企業が今後も拡大もしくは同程度の規模での連携を実施予定**と回答していた。
- ディープテックSUと連携済みの企業からは、**新規事業領域進出に向けた探索**を目的に連携しているとの回答が最も多く、連携形態としては、**事業連携、共同研究**の形態での連携を実施しているとの回答が最も多い傾向となっていた。
- ディープテックSUと連携済みの企業のうち、**約半数程度がディープテックSUとの連携を検討・実施する部署を有している**と回答しており、また、ディープテックSUと連携済みの企業のうち、**約半数がディープテックSUとの連携を検討・選定するにあたり、何らかの評価を実施している**ことが把握された。